

# 2017 明治安田生命 J2 リーグ 第 27 節 vs. **フアジアーノ岡山**

8/11 (金・祝) 18:00 kick off @岐阜メモリアルセンター長良川競技場



## 2017 J2 ■順位表■ 第 26 節

勝点、得点、失点、得失点差、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	湘南	53p	31	21	+10	A△
2	福岡	52p	37	20	+17	A●
3	長崎	44p	33	28	+5	H△ A●
4	徳島	43p	38	24	+14	A△
5	名古屋	43p	45	39	+6	A△
6	横浜FC	41p	36	26	+10	H● A●
7	大分	41p	35	29	+6	H●
8	岡山	41p	31	29	+2	A△
9	松本	39p	37	21	+16	H●
10	千葉	39p	42	37	+5	H●
11	水戸	39p	31	30	+1	H○
12	山形	38p	24	29	-5	H△
13	東京V	37p	37	32	+5	A●
14	京都	36p	36	32	+4	A△ HO
15	町田	35p	33	30	+3	A○ H●
16	愛媛	35p	36	41	-5	A●
17	岐阜	29p	36	40	-4	---
18	金沢	29p	26	43	-17	HO
19	熊本	26p	28	40	-12	H●
20	山口	19p	26	38	-12	H△
21	讃岐	17p	28	43	-15	A○
22	群馬	14p	16	50	-34	A○ HO

## 次回HomeGame

第29節 vs. **カマタマーレ讃岐**

8/20 (日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

**大酒場 ホムラン** TEL. 058-263-5201  
 名鉄岐阜駅前 (三菱東京UFJ銀行隣り)  
 年中無休 午後3時から営業

**Living in Woods**  
 本庄工業株式会社  
<http://www.honjo-woodream.com/>

**岡田歯科医院**  
 岐阜市加納新本町1-23  
 tel: 058-273-8998

**ALADDIN**  
 何も無い店だけど..  
 心の花が咲く..  
 何も無い店だけど..  
 心癒される..  
 忘れかけていた喫茶店がある  
 岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

## today's guest : **フアジアーノ岡山**

2016 J2 17勝14分11敗 勝ち点65: 6位

直近の対決と結果	ここ3試合の公式戦の結果	
2017/06/17 J2-19節@Cスタ	FC岐阜	フアジアーノ岡山
岡山 1-1 岐阜 難波宏明 scored.	2017/08/05 J2-26節@トラスター 長崎 2-1 岐阜	2017/08/05 J2-26節@西京極 京都 1-1 岡山
	2017/07/30 J2-25節@長良川 岐阜 2-0 群馬	2017/07/30 J2-25節@Cスタ 岡山 2-0 長崎
	2017/07/22 J2-24節@長良川 岐阜 0-2 町田	2017/07/23 J2-24節@Cスタ 岡山 2-1 山口

●7/30 (土) 第 25 節、連敗の中で最下位・群馬をホームに迎えたFC岐阜は、これまでフル出場していた主将・#10 庄司悦大を欠きながらも、試合開始早々に#9 クリスチャンが先制ゴール。その後も優勢を保ちつつ何度も決定機を迎える中、ついに#23 小野悠斗が追加点を挙げる。結局、2-0で勝利し、大事な試合を無失点で手中に収めることができた。続いてアウェイに赴いた8/5 (土) 第 26 節・長崎戦は、5位・長崎相手に引けをとらない試合展開。PKで先制を許すも、#9 クリスチャンの2試合連続ゴールとなる見事なシュートで同点に追いつく。その後は両者譲らない攻防が続くが、後半アディショナルタイムに再びPKを許し、これが決勝点となって1-2。悔いの残る敗戦となってしまった。

この2試合の結果、FC岐阜の順位は18位から17位に。しかし、その入れ替わった18位・金沢は勝ち点で並び、得失点差のみ。最下位・群馬は直接対決で突き放すことができたが、19位・熊本が勝ち点差3、21位 (降格圏)・讃岐が勝ち点差12で追いついているため、まだ油断はできない。また、直近上位の16位 (愛媛) に勝ち点差6と、まだその差を埋めることができていないが、その16位 (愛媛) から6位 (横浜FC) までの11チームは未だに勝ち点差6の中と、こちらもまだ大混戦が続いている。なんとか、このプレーオフ圏~中位争いに食い込むためにも、さらなる頑張りが必要だ。

さて、今節の対戦相手はフアジアーノ岡山。昨年は6位、プレーオフ決勝で敗れて主力の多くが退団したが、長澤監督3年目体制の下で新戦力を補強し、現在12試合連続で無敗 (7勝5分) と好調で、8位とプレーオフ争いをしているチームだ。厳しい相手となることが予想されるが、しかし、岡山との (Jリーグでの) 通算対戦成績は、岐阜の7勝6分5敗21得点22失点と、わずかに岐阜が勝ち越している。ところがホーム戦では2勝3分3敗9得点12失点と岐阜が負け越し。昨年のホーム戦・10/2 (日) 第34節も、試合開始直後から失点を繰り返し、0-5で大敗した。その一方で、今シーズンのアウェイ戦・6/17 (土) 第19節では先制されたが、84分に連動した動きから#24 難波宏明が同点ゴールを決め、1-1で引き分け。今節は、是非とも昨年のリベンジを果たして欲しいところだ。

岡山で最も注意すべき選手は、やはり#30 豊川雄太だろう。鹿島から期限付移籍2年目で現在8得点とチーム得点王。前回6/17 (土) に得点を決めたのも豊川だったし、昨年10/2 (日) にも2ゴールを奪われている。また、#24 赤嶺真吾も7得点と、新旧2名の万能型FWで、岡山の総得点31点の約半分を叩き出している。また、セットプレーからの得点が13というのも岡山の特徴で、#8 石毛秀樹の右足や#17 パク・ヒョンジンの左足そして#19片山瑛一のロングスローにも注意が必要だ。一方の守備では総失点が29と、目立って少ない訳でもないが、複数失点は (第14節までの) 5試合と少ない (なお、岐阜は11試合)。この堅守を支えるのが今年から守護神を務める、山口から移籍した#22一森純だ。岐阜の攻撃陣の活躍に期待したいが、#10 庄司悦大には、昨年のチームメイトからゴールを奪う姿を見せて欲しい。また岡山県出身でアウェイ戦でも得点を決めている#24 難波宏明、あるいは#9 クリスチャンの3試合連続ゴールなど、真夏のホームスタジアムを沸かす熱いゴールシーンを岐阜の選手たちに期待したい。

この季節は、対戦相手が一巡して研究され、選手たちも試合での疲労が蓄積しており、またナイターとはいえ消耗度も高いため、チームの底力が試される季節だ。また、夏休みシーズンということで、新たな観客層・サポーターの獲得が期待できる季節でもある。色々な意味で、最後まで勝利を目指してひたむきに戦うことを要求される季節だ。僕らもまた、最後まで諦めずに選手たちを信じて、その背中を後押しする拍手や声援を送りつけて、そして試合終了時には、暑くて熱いスタジアムで勝利の万歳四唱を叫ぼう。(ささたく)

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。  
**『チヂミ屋』**はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
 休:月曜日

**投稿募集!!**  
[gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第25節】岐阜 2-0 群馬

●僕は懺悔と共に告白します…正直、試合前は少し「嫌な予感」がしていました(笑)。だって今まで、こういう試合、“最後の最後”ではないんだけど、ここで勝っておくと今後のシーズンで楽になれるって対戦相手で、まともに勝つためし無いじゃんウチ？(苦笑)今シーズン開幕前の県知事の発言にもあったように、“最後まで”スリルとサスペンスを与えて、“最後には”帳尻を合わせるのが、昨年までのFC岐阜だった訳で(苦笑)。しかも#10庄司悦大が前節の退場で出場停止。「庄司がいないチーム」というのは試してみる価値はあると思っただけけれど、しかし“勝ち点6の重みがある”試合で試す価値はないよなあ、でも庄司がなくて群馬に勝てないのもヤバイよなあ…そんなことを僕は考えてました、はい。

ところが、試合序盤から攻め込むFC岐阜。そして#9クリスチャンの先制ゴール！いやゴールは嬉しいんだけどさ、こんな展開は今シーズンになっても経験してないから、どうしていいかわかんない(苦笑)。ぶっちゃけ、ゴール前ど真ん中にいた#9クリスチャンに群馬のDFが詰め切れてなかったと思うんだけど、まあそれでも3試合ぶりのゴールは嬉しいモノです。ただ、先制してもあっさり追いつかれて逆転されるという苦々しい記憶も残っている訳でして(苦笑)。だから…あれ、普通に守れてますね、ウチ。そのまま前半終了しましたが、ひょっとしたら、前半はまだ暑くて消耗するから、群馬は後半に勝負かけてくる戦術…でもないですね。なんでこんな……でも何だか見慣れてるような群馬のサッカーに、「これは去年の“FC岐阜の”サッカーだ」と、その時気がつきました(苦笑)。個人技だけじゃなくて、チーム全体としての“戦術”があるっていうのは、ホントに大事なんだなあ、改めて気づかされたと同時に、このサッカーを見ている群馬サポは大変だろうなあ、とも。記憶違いだったらごめんなさいだけど、群馬って、シーズン最終盤のJ2残留争いは経験していないはず。僕らとは修羅場の経験値が違う。だから「この状況を変えるのは自分達次第」なんてダンマクを掲げちゃうのも、理由が(少なくとも僕には)わかった気がした。しかし同情している余裕なんてウチには一切無い。結局、2-0でのクリーンシートで勝利。うん、無失点での勝利なんていつ以来だ…と思って調べたら、15試合ぶり、5/3アウェイ群馬戦(2-0)以来じゃないですか(苦笑)。ちょっとそこは、ウチも反省しましょうよ。大事な試合を、しっかりモノにできた。その結果には満足だし、少し安心した。でも、まだまだ試合運びに課題も残したように思う。今後も課題を(少しずつかもしれないけれど)解消して、より魅力的なサッカーで結果を出してほしいです、はい。(ささたく)

●いや～、楽勝でしたね(笑)と半ば本気で言ってみる。少なくとも、最良の結果だったことに間違いはない。少し順位差はあるものの、眼下の敵と言っている群馬を手こずることもなく一蹴し、6ポイント・ゲームを難なく手中に納めた。思い起こせば、此処ぞ！という試合はともかく、「ココを取れば楽になる」試合は悉く、といていっほどヤラれ続けて来た黒歴史。それとほぼ同様な試合を制したことで、今季のJ2残留へ大きく前進したと思う。

試合開始早々に得点したこともあって、割と冷静に眺めていたら、アタマに浮かんで来たのが「なんか、よく見た覚えのあるサッカーだな。」という思い。プレスに行くでもない、リトリートするでもない。ただ、後手後手に回って、闇雲に蹴り返すだけ。当然セカンド・ボール拾われて、切羽詰まって後ろからいたり、抜かれて手を使ったりでカードを切られて、FK与えて。おまけに、ようやくマイボールにしてもスグ相手に渡したり、取られたり。リスタートのゴール・キックとかも含めて、あんなにカンタンにこちらへボールを渡してはね。それと、追加点の場面の守備。味方の選手(たぶん、途中出場のFW)がボールのコースに入ってクリアすると見

せかけてスルーという気の毒な点はあるけど、手を使えるハズのGKがゴールに向かって飛んで来たボールに手を出せず、挙げ句に「足に当たって」ゴールインするなんてありえない。「足に当たって」じゃなくて「当たって」だからね。もちろん、当たる前にゴールインしてたけどさ。攻撃でも後半に珍しく、ほぼダイレクトで4本くらい繋がったシーンがあったけど、アレも繋がたんじゃなくて「繋がった」だからね。全部ギリギリのプレーだったからミスしてお終い。ああ、群馬の話です。まるで、昨季までのウチのことかのような話ですが。そんな既視感満載の中で唯一感じた違和感。それが群馬の出した一発ダンマク。『今の状況を変えるのは自分達次第』だったと思うけど、自分達次第？ずいぶんと客観的で余裕を感じさせる表現だな、と。その「自分達」の中にサポーターは含んでいるのかな？もし、一緒に戦う気があるんなら、そんな他人行儀な、客観的な言葉選ぶハズがない。サポも含めての「自分達次第」なら、そんなダンマク出す前に、スタジアム入った時から終了までやるべきことあるよね？こちとら、スマンが修羅場を踏んだ回数だけはドコにも負けんのじゃ(苦笑)。同じような状況だった昨季の岐阜。その時に出したダンマクは『オレ達はココで死ぬ気で戦う！』だった(と思う)。群馬のソレと比べたら、野卑で乱暴な文言だとは思うけど、12番目を名乗る者としての気持ちが、本気度が伝わるのはどちらか。ウチの方だというのは身びいきに過ぎるかしらん？もちろん、このダンマクだけでなんとなかったワケではなく、クラブと共同してのピッチ内での選手出迎え。試合前の肩を組んでの「誇り胸に」。そして、最終節では1万人を超えた岐阜を愛するサポーター達の声援が残留への後押しをした。もちろん、決めてくれたのは選手だけど、そういった岐阜にかかわるすべての人たちの結集。そういう雰囲気、気の毒だけど、この試合の群馬からは感じられなかった。

それはともかく、これで今季は群馬をスイープ。無失点。昨季の開幕戦はアレだったけど、とにかく対群馬3連勝。コレで、ようやく十年ちょい前の天皇杯3回戦@敷島サッカー場で受けた恩を返すことができたかな？そう勝手に思ってるよ。ギリギリ間に合ったって感じかな？来季はやれないかもしれないからね。唯一のピンチは、後半に左サイドからのクロスをファーでダイレクトに撃たれたシーン。ビクトルが当てたのをアベちゃんがギリギリでクリア。アレだけだったね。ビクトルが今節のセーブ・ベスト5に選ばれたくらいにはヤバかった(苦笑)あ、そういや、前半にも1本あったか。やはり、左サイドからの高速クロスのアタマに当て損ねたヤツ。でも、一言で表すなら完勝。負ける要素が見当たらない試合。そういう試合をキッチリ勝てたのは本当によかった。とはいえ、勝てたのは群馬が相手だったから。問題はココからだから。なにせ、ようやく、1か月に2勝した程度だから。これからも、もっと厳しい試合が続く。一つ一つのプレーを大切に上を目指しましょう！

末尾になりましたが、アンバサダー就任ありがとうございます>町言葉嬢。どうぞ、よろしくお願いします。(ぐん、)

●もっと厄介な試合になるかと思っていた。キャプテン・庄司の不在というより、昨年までの我々はいまの群馬のような状況にあることが多く(苦笑)こういう試合をモノにしてJ2に生き残ってきたことを思い返して、だ。しかし、群馬は(残念ながら)順位に相応しいサッカーしか出来なかった。開幕から全試合で失点というの、さもありません。引いているのではなく、下がっているだけ。岐阜に守備のことを言われたくないかもしれない(苦笑)、少なくとも我々には「守備の時間を少なくする(ためのポゼッション志向)」というコンセプトがある。この内容と結果は、必然だ。注目点だった庄司の不在は、悠斗が『庄司とは違うスタイル』を見せるという最高の結果を出してくれた。どちらかという引き気味でピッチ全体を俯瞰するイメージの庄司に対し、局所的に強いアクセントになるプレーを披露してくれた。これで、FC岐阜は「庄司スタイル」「悠斗スタイル」を使い分

けることも出来るかもしれない。あと、クリスチャンの存在感が増したのも嬉しい。古橋や大本といったスピード系とは違う『懐の深さ』でリズムを変えてくれる。これで、両翼FWを活かすプレーが出来るようになれば、「攻める割にゴールが少ない」岐阜の欠点はさらに修正されていくだろう。群馬サポのダンマクについては思うところ多々あったけど、他の2名がしっかり書いてくれたので省略。残留したいなら、いまはもう選手を励ます時だよ、群馬サポさん。(吉田铸造)

## 【第26節】長崎2-1 岐阜

●この原稿は、台風5号がお出ましになってる最中に書いているが、試合から二日が過ぎて、ようやく切り替えができたような気がする。それほどに受け入れ難い結果だった。もちろん、試合の時は反対側のゴール前で何が起きたのかはわからなかった。それでも、あの笛の音は今でも耳に残っているし、掲げられた黄紙は脳裏に焼き付いている。止めてくれることを願ったピクトル・コールは叶わなかった。ピクトルの読みは当たっていたが、あのコースに決められてはしかたがない。失点は2点ともPK。目の前で見た1点目もリプレイで確認した2点目も、共に「不可解」としか言いようがない判定に思える。が、これもあくまで主観に過ぎない。検証はリーグやクラブに任せるが、結果が変わるはずもない。審判との握手を拒否した行為は、褒められたモノではないが、それだけ「絶対、ファールじゃない！」という思いが強かったんだろう。その気持ちは十二分にわかる。だからこそ、ゴール裏も挨拶に来てくれた選手に健闘をたたえるコールとチャントを送った。ゴール裏の気持ちは届いたと思う。それにしても、今季の長崎戦ではいろんなことが起こるなあ。長良川での幻の5失点目とか。そーいや、土曜のDAZNの解説者が言ってたな。「どんなカタチでも勝つのが長崎」みたいなことを。気をつけなきゃな(苦笑)。ただ、そうはいつでも、やはり何かが足りなかった。厳しい事を言うようだが、決勝点はまたしてもスローインからの流れ。そのひとつ前の展開は長崎陣でもったいないボールロスト。その辺は、試合後の監督のコメント通り。あの時間帯に危険な位置にいたから、こんな結果になったと言える。さらに言えば、2点目を取られる前にウチが得点を決めるチャンスもあった。悠斗のクロスが浮いてしまった場面。せっかく、利き足に持ち替えたのにあのクロスは残念。要はそういうことの積み重ね。それが勝ち点を取れるかどうかの差であり、順位の違いとも言えるのではないかな。次節からは真夏の3連戦。厳しい戦いは続くが、どうか足りない部分を埋めていってほしい。そのためにも、またアツク応援します!(ぐん、)

## 【ユース】G1リーグは折り返し

●我々がFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)はG1リーグに参加しています。FC岐阜ユースは一時期リーグ首位に立ったことも有りましたが、リーグ戦折り返しとなる第9節終了時点では6勝1分2敗の勝点19でリーグ4位となっています。ただ首位の中京高校の勝点は22であり、今年のG1は勝点差3の間に4チームがひしめく大混戦となっています。後半戦の成績次第でまだまだリーグ優勝のチャンスはありますので、是非頑張ってもらいましょう!さて、夏休みの間リーグ戦はお休みしていましたが、8月26日の第10節メジャー戦から再開されます。日程・会場などは20日讀岐戦の岐大通にてお知らせします。頑張れよ、応援しているからな!FORZA!FC岐阜ユース!!※試合会場・時間は変更される場合があります。必ず岐阜県サッカー協会やチームの公式サイトで確認して下さい。(シュナ)

## 【謝辞】創刊200号を迎えました。

●おかげさまで、“岐阜サポ有志によるフリーペーパー(しばらくの間は“私製MDP”と呼んでたような?)”『岐大通』も、この8/11(金)岡山戦号で、10年間・通算200号を迎えました。本当にありがとうございます。これも毎試合、受け取ってご愛顧いただいております、岐阜サポ(ほか他サポの皆さまも含めた)諸兄のおかげです。心から感謝申し上げます。また、一時期は相当辛口な記事を書いて、かつ「これを読め」と無理矢理に渡していたにも関わらず、配布禁止にすることもなく(笑)配布を許可し続けていただいているクラブ関係者の皆さまにも感謝申し上げます。

※なお、『岐大通』の生い立ちなどは、何度か取材も受けてたりしますので、そちらもご参照下さいませ。NHKで3回ほど(最新は2016年最終戦)、あるいはウェブで「宇都宮徹吉」J2漫遊記「FC岐阜」と検索しますと、2012年当時の記事が出てきます。あとは『岐大通』通算150号とか…こういうのって、まとめた方が良いのかしら?(笑)。

いつの間にか、積み上げ続けて200号です。10年前に、『岐大通』のスポンサーでもある『チヂミ屋』さんで話を持ちかけられた時は、たしか「目標は100号」でしたので、いつの間にか、その倍にまでいくことができました。

とはいえ、あまり達成感がないのも、これまた僕の中の事実でして(苦笑)。「あれっ、もう200号?」っていう表現の方が、実際には合っているかもしれません。まあ、良くも悪くも“ルーティン化”してるのが原因かもしれないですね。ほぼ、ホーム戦の毎試合(“ほぼ”というのは、1シーズンがホーム&アウェイ2試合じゃなくて3試合だったシーズンは発行を諦めた試合もあるので)の前に原稿を(今回も深夜までかかって)書いて、ホーム戦の直前(スケジュールが厳しいと、事前搬入の2時間前ギリギリとか(笑))に印刷して、先行入場開始前に配りだして…そんなパターンの生活を10年間も続けてりゃ、そりゃ慣れますわ(苦笑)。FC岐阜を応援するのと同様、僕にとって『岐大通』を製作して配布するのは、既に“生活の一部”です。そして、その原動力が、喜んで受け取ってくれるみなさんの表情だったり、「ありがとう」の言葉だったりするのは、10年間変わりません。

ただ、10年間で変わってきたこともあります。『岐大通』のレイアウトや編集・印刷方法も少しずつ変えてきましたが、FC岐阜を取り巻く環境も、少しずつ(大きく?)変わってきました。また『岐大通』スポンサーであり、昔から選手&スタッフ&サポーターの集まる喫茶店『アラジン』さんも、閉店するという事です。僕も、(仕事のや年齢的な事情もありますので)いつまで続けていけるか分かりません。後継者というか、手伝ってくれる方や投稿していただける方が増えてくれると助かるのですが(笑)。

ともあれ、今後も僕たちにできる範囲で、可能な限り、こつこつと続けていきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

(印刷&配布担当・“ささたく”こと佐々木拓)

●ささたくが全部書いてくれた(笑)ので、ぼくから加えることはわずかです。とにかく感謝の念しかありません。クラブとは独立して動いているこのようなフリーペーパーの配布を長らく許可してくださっているクラブ、そしていつも受け取ってくださる皆様に、厚く御礼申し上げます。

『岐大通』は、スポンサーをいただいて活動を行っています。そんな中、J1年目・2008年の第11節・愛媛戦から186号の長きにわたり支援してくださった『アラジン』様が閉店することとなりました。J昇格の前はFC岐阜のスタッフが会議の場としても使ったという“聖地”。閉店は誠に残念ですが、これもまた時の流れ。FC岐阜が変わっていくように、我々も変わっていくのですね。長い間、お疲れさまでした。そして、本当にありがとうございました。(編集担当・吉田铸造)

